

戦争を始めたいのか！

ミサイルを日本海に何発も試射

北朝鮮のミサイル基地攻撃に言及



金正日はまわりの国を威嚇するように**ミサイル**を何発も日本海に試射しました。それに対して**安倍晋三**は**経済制裁**の発動を宣言し、ついには北朝鮮のミサイル基地に対する**先制攻撃**にまで言及しています。

勇ましいことです。しかし**平和憲法**を無視して大型ミサイル基地を先制攻撃したとしても、その途端に移動式の多数の小型ミサイルが一斉に日本に向けて発射されるでしょう。



あるいは日本の先制攻撃論に対して、**金正日**は核実験で答えるかもしれません。そのとき**安倍晋三**は持論である日本の核武装を実行に移すのでしょうか。

お互いに**挑発**しあっていけば、**最後は必ず戦争**になるでしょう。戦争になって死ぬのは日本の私やあなたや、北朝鮮の私やあなたです。**金正日**や**安倍晋三**ではありません。

右の写真は、先の侵略戦争を正義の戦争だと美化する人たちが”捏造写真”だと宣伝しているものを敢えて使いました。（捏造かどうかは写真に写っている人たちが、一番よく知っていたでしょう）

金正日や**安倍晋三**にとっては、戦争は外交手段のひとつにすぎないかもしれませんが。しかし日本や北朝鮮の庶民にとっては**戦争とはこの写真が再現されること**です。



平時でも、同じ国民同士でも、光市母子殺人事件や栃木リンチ殺人事件のような残虐なことを人は平気でしてしまいます。ましてや憎しみあって戦争をしているときに他国民にどんな仕打ちに出るかは、推して知るべしでしょう。

実際中国での日本だけではなく、第2次大戦中のヨーロッパでも、ベトナム戦争でも、パレスチナでもイラクでも人は数限りない残虐行為を繰り返してきているではありませんか。

戦争が始まれば、日本の私やあなたや北朝鮮の私やあなたは、この刀を振り上げている人、そのもとで観念している人、周りでニヤニヤ笑っている人のどれかを演ずることになるのだと思います。

そして、**金正日**も**安倍晋三**もこの写真の現場からは遠く離れた**安全な所**にいるはずで

安全なところで勇ましいことを言う人たちを信用してはいけません。

戦争は始まってしまったら私たちの何もかもを奪い尽くすまで続きます。

ご自由にコピー、プリントアウトして下さい